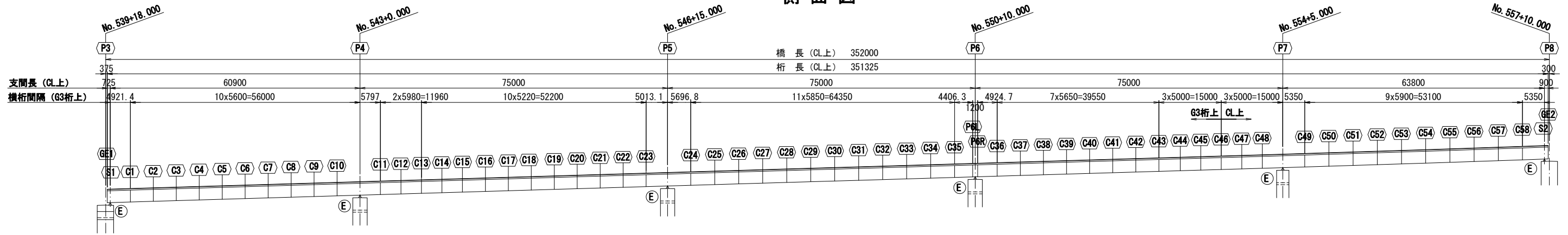
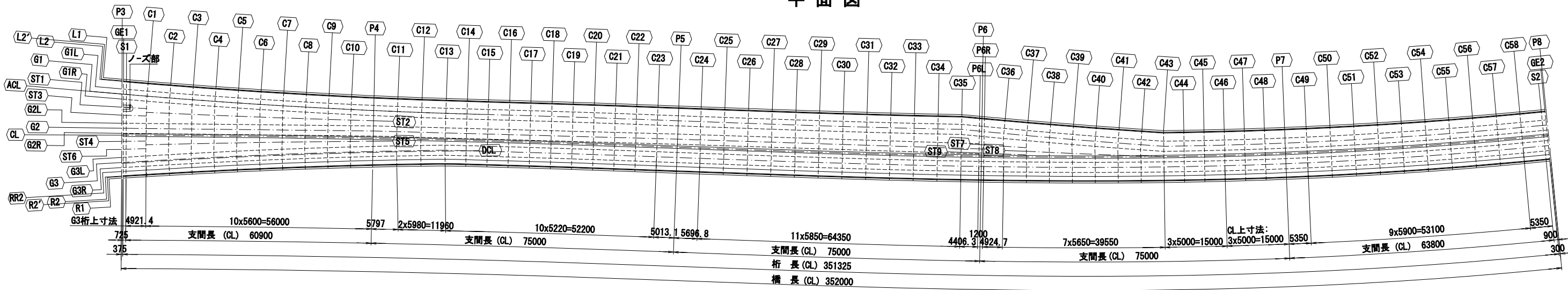


# 桑折高架橋P3-P8 上部工構造一般図 (その1) S=1:500

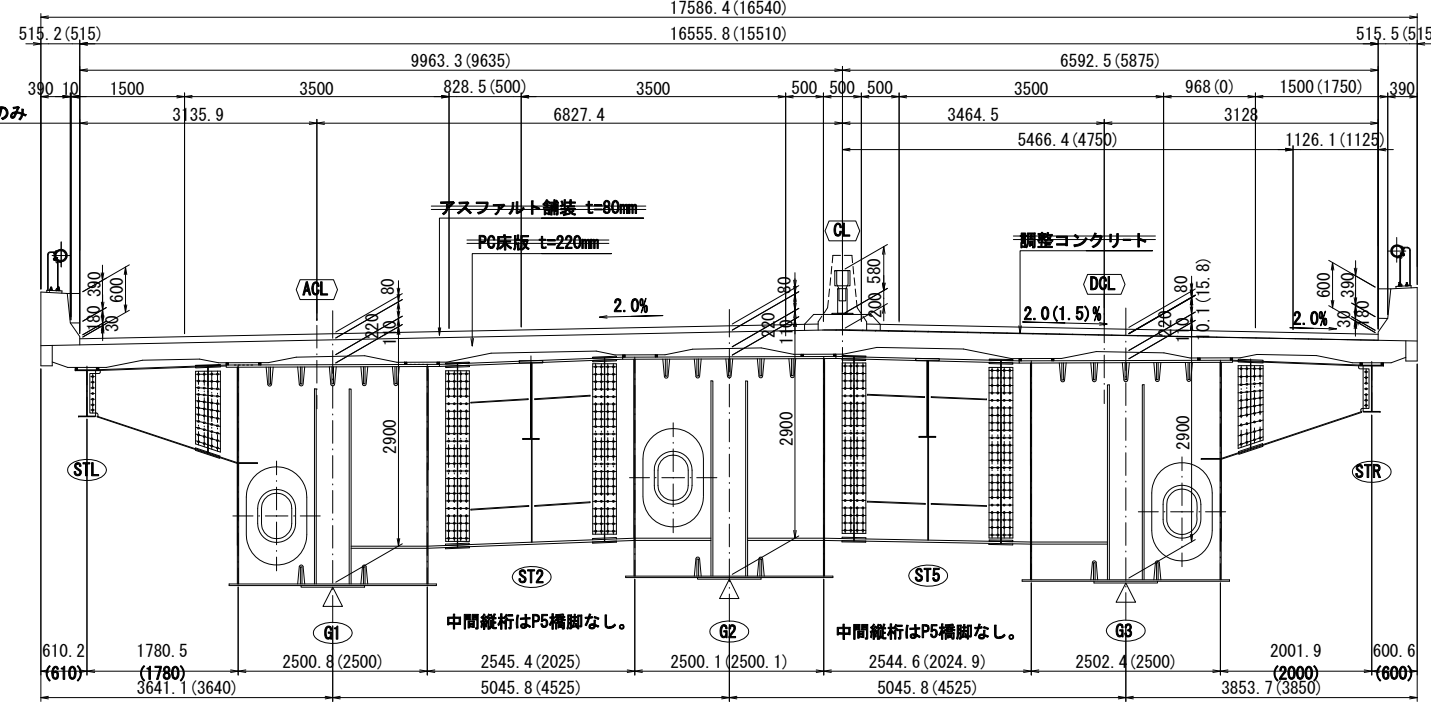
## 側面図



## 平面図



### 中間支点部P4 (P5)



### 設計条件

橋名	桑折高架橋		
路線名	相馬福島道路 (霊山~福島)		
道路規格	第1種 第3級	設計速度	V=80km/h
設計活荷重	B活荷重		
設計交通量	大型車計画交通量 標準部:704台以上/日・方向 拡幅部:Aランプ:115台以上/日・方向 本線部:554台以上/日・方向 Dランプ:117台以上/日・方向		
橋種	鋼5径間連続非合成箱桁橋		
橋長	L=352.000m (CL上)		
桁長	L=351.325m (CL上)		
支間長	60.900+75.000+75.000+75.000+63.800m (CL上)		
幅員	全幅	W=24.378m~12.790m	
	有効幅員	W=23.588 m~12.000m	
縦断勾配	2.983% / VCL=120m / 4.000%		
横断勾配	2.000% (山勾配) ~ 3.000% (片勾配)		
平面線形	R=4000~A=400~R=1100		
斜角	θ=90° 00' 00"		
耐震設計	橋の重要度	B種の橋	
	地域区分	A2	
	地盤種別	II種地盤	
設計水平震度	レベル1 横軸方向 Kh=0.25, 直角方向 Kh=0.25		
支承形式	免震支承		
舗装	アスファルト舗装 t=80mm		
上部工	形式	鋼5径間連続非合成箱桁橋	
	材料	コンクリート	PC床版 σ <sub>ck</sub> =50N/mm <sup>2</sup> , 壁高欄 σ <sub>ck</sub> =30N/mm <sup>2</sup> 中央分離帯地覆 σ <sub>ck</sub> =24N/mm <sup>2</sup>
	鉄筋	SD345	
下部工	主要鋼材	SM570, SM490Y, SM400, SS400, S10T	
	躯体形式	ラーメン式橋脚, 壁式橋脚	
	基礎形式	場所打ち杭 φ1500	
適用示方書	材料	コンクリート σ <sub>ck</sub> =24N/mm <sup>2</sup>	
	鉄筋	SD345	
適用示方書	道路橋示方書・同解説 I~V (平成24年3月)		

平成 28~30 年度			
施工箇所	福島県伊達郡桑折町字蒲田~福島県伊達郡桑折町成田字福山 地内		
工事名	東北中央自動車道 桑折高架橋赤坂地区上部工工事		
図名	桑折高架橋P3-P8 上部工構造一般図 (その1)		
縮尺	図示	全 305 葉の内 4	
作成年月	平成 年 月		
東北地方整備局 福島河川国道事務所			